



# ゆうすい 議会だより

9月定例会

平成25年11月15日発行 第36号



### 主な内容

平成24年度決算	2
平成25年度補正予算	7
一般質問	8
議決一覧	13

**(栗野幼稚園児による  
オープニングセレモニー)**

# すべての会計を認定



予算はどくらい

活かされたのか

## 決算審査特別委員会審査報告

平成25年第3回定例会において、平成24年度歳入歳出に係る決算の認定に付する議案が上程され、決算審査特別委員会を設置。それぞれの会計の予算執行状況と施策の成果について、審査を実施しました。

**審査の着眼点**  
予算が目的に従って適正かつ効果的に執行できたか。

どのような行政効果が発揮できたか。また、改善工夫がどのようなにされるべきか等。

### 審査期間

平成25年9月12日  
～ 9月27日

### 決算審査特別委員会委員

委員長

吉永 義和

副委員長

久留須 修

委員

橋元 義嗣

松元 昭治

綾織まち子

森山 マスミ

### 審査場所

吉松庁舎  
2・3委員会室  
及び現地調査



# 平成24年度 決算

	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	介護保険	後期高齢者
歳入総額	7,578,465,537	1,520,377,506	1,274,096,059	133,746,141
歳出総額	7,245,138,153	1,491,711,507	1,259,490,109	133,682,241
差引額	333,327,384	28,665,999	14,605,950	63,900
翌年度に繰り越すべき財源	93,769,000	0	0	0
実質収支額	239,558,384	28,665,999	14,605,950	63,900

水道事業	収益的		計	資本的		計
	収入	支出		収入	支出	
		175,743,532	173,792,546	1,950,986	85,868,583	139,790,488

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額 53,921,905 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てん

## 審査結果の概要

決算審査の力点は、予算が議決した趣旨目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか。それによつてどのように行政効果が発揮できたか。それから見て、今後の行財政運営において、どのような改善工夫がされるべきであるかということであります。

このようなことを大きな着眼点として、一般会計、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業特別会計、水道事業会計について審査しました。

平成24年度湧水町一般会計・特別会計歳入歳出決算について、決算書、主要施策成果説明書、審査資料等に基づいて、室内審査及び現地調査を行いました。今回の現地調査は、工事箇所は勿論のこと、各施設での運営や業務の成果等についても調査し、その結果、本町の歳入歳出決算状況は、予算編成に基づき効率的

## 現地審査状況

に執行され、初期の成果を納め、財政運用状況も概ね良好であると認定しました。



# 決算

# 主要事業

## 交通対策事業

事業費 1,755万1千円



### 内容

公共交通機関の利用促進により路線の確保・存続のため、各種協議会を通じた活動を行う。また、町民の生活維持・観光客の利便性の確保のためふるさとバスを運行する。

### 質疑

交通対策事業ふるさとバスについて、事業費の約1割が運賃収入で残りは、補助金を支出している状況の中で、運賃収入は昨年度より減収し、又燃料費は高騰して補助金も増加していることについてどのように考えているか。又、デマンド方式にする考えはないのか。

### 答弁

現在、これまでに運賃値上げや便数の削減など行い運行しております。今後は、デマンド方式を含め運行形態及び料金について総合的に検討したい。

## 総合交流施設管理

事業費 6,691万5千円



### 内容

総合交流施設の管理・運営

### 質疑

総合交流施設の温泉施設の利用者が、前年度より約4,000人減になっている。利用増を図るには料金の値下げを考えるべきと思うが、その考えはないか。

### 答弁

今までも検討してきておりますが、町内の温泉業者との関係もあります。また、一方では、値上げしてもよいのではないかという意見もありまして、今の料金体系で行きたいと考えております。利用促進につきましては、料金のことだけではなく、総体的に検討していくべきと思っております。

そこで、本年度は町のホームページの見直しを行い、利用促進等の啓発を行っています。また、ご意見箱を設置しましたので、利用者の意見を聞いて改善できるところは、改善して利用促進を図っていきます。

## 職員メンタルヘルスカウンセリング業務

事業費 26万6千円



### 内容

町職員の心の病の未然防止と心の健康保持増進を図るため、メンタルヘルスカウンセリング業務を委託し、職員のメンタルの保持及び対策に努めた。

### 質疑

職員健康管理事業で、メンタルヘルスカウンセリング業務についてと、現在心の病で休職している職員がいるのか。

### 答弁

24年度からの新規事業で、全員のストレス調査を行い面談の必要があると診断された15名に対し、11名にカウンセリングを実施いたしました。現在休職者は1名おります。

# 平成24年度

## 予防接種事業

事業費 2,139万1千円



**内容** 伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種の実施と費用の一部支援を行い、健康の維持増進に寄与した。

**質疑** 妊娠中に感染すると胎児に心疾患などの障害をもたらす風疹の感染症対策について

**答弁** 全国的に流行していると新聞等で報じられていますが、市町村によっては助成をする市町村もあるようですが、本町は現在のところ助成はしておりません。

## 畜産防疫事業

事業費 575万5千円



平成23年度に整備された防疫施設

**内容** 家畜伝染病防疫対策の為、山林の買収と造成工事等を行った。また、町内畜産農家へ消石灰の配布を行い、経費軽減と農家の防疫への意識向上を図ることができた。

**質疑** 畜産防疫事業について、毎月28日の防疫の日が住民に浸透して防疫に対する認識が高まって非常にいいことだと思っております。今後も努力していただきたい。

**答弁** 防疫対策につきましては、現在の対応の継続と、えびの市・伊佐市・人吉市との協議会による情報提供等、広域対応を含め努力して参ります。

## 教育相談員設置事業

事業費 127万7千円



**内容** いじめや不登校等、児童生徒の問題行動等の対応について、学校や家庭との相談体制の充実を図ることができた。

**質疑** 教育相談員の設置事業で、相談員の指導の下で学習をしている生徒が延べ458人いるとあるが、この状況をどのように考えているのか又、どのように対処していくのか。

**答弁** 不登校生徒については、いろいろな因果関係があると思いますが、本人の病気以外の何らかの家庭の事情によって不登校になっているようであります。今後も問題行動等の児童・生徒については、各学校や関係機関と連携して対応します。また、今後も相談員の指導の下で学習を行っていきます。



## 都市計画事業



栗野駅前

**内容** 土地区画整理事業の基本設計となる、実施計画・仮換地指定・建物調査等の各種設計を継続的に  
行い。また宅地造成工事及び都市計画道路整備  
等の進捗が図られた。

**質疑** 全体事業計画の今後の見通しはどうか。

**答弁** 事業費ベースで進捗率62%です。平成21年度から国庫補助が削減されてきております。又、平成25年度から起債対象路線の交付税算入路線が廃止になるなど厳しい状況であり、現在都市計画道路補助対象以外の区画道路等が補助対象となるように国と協議をして財源確保を図ります。平成31年度までに43億円の事業計画ですので、町の財政計画に支障がないように事業の延伸を考えなければならない状況であり、3年ほど延伸をして財源調整をしながら事業を行っていきたい。

## 水道事業

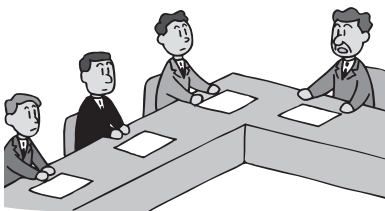


**内容** 生活用水その他の浄水を町民に供給するため、  
事業を実施した。

**質疑** 供給単価より給水原価が10円34銭高いがどう  
考えるか。

**答弁** 昨年、水道料金の統一を行いました。このこと  
を踏まえて、赤字解消には努めなくてはいけません  
が、現在のところ、国の消費税のアップ等のこと  
を考えると、住民に負担を掛けないように、慎重  
に対応して参ります。

## 行政改革推進事業



**内容** 住民本位の開かれた行政運営とスリムで効率的な行政組織の  
確立を図るため、行政改革推進委員会からの提言を  
踏まえ、本町の行政改革を推進する。

**質疑** 行政改革推進委員会について、開催日数及び内容は、ま  
た合併後8年になるが、行政組織の見直し、それと職員  
定員管理適正化等審議されたものか。

**答弁** 開催日数は、委員12名の組織で上期下期の年2回開催  
しております。内容は、平成23年度に策定した第2次  
行政改革実施計画の進捗状況を委員会に報告し、意見や  
提言を頂いています。組織再編については、平成21年  
度に計画案をまとめておりますが、合併協議で決められ  
た現組織は、10年間維持する方針であります。今後、  
組織再編計画(案)を見直し、職員定員管理適正化と併  
せ、行政改革推進委員会及び地域審議会へ諮りたいと思  
います。

# 平成25年 第3回定例会

一般会計補正予算 3,030万3,000円可決



総額 66億4,463万7,000円に

第3回定例会は9月5日招集され、10月11日までの37日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成25年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の補正予算のほか、平成24年度の各会計の決算をそれぞれ可決、認定しました。

また消防ポンプ自動車購入に伴う財産の取得1件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、それぞれ原案のとおり可決しました。更に議員より、道州制導入に関する意見書について発議がなされ、可決しております。

一般質問では、議員4名が6項目について質問しました。

## 公有財産 購入費

轟地区の防災拠点としての総合的な整備を行うための消防団詰所用地購入費です。



## 町道等整備 工事費



町道仲町湯ノ平線の交差点改良に伴う工事費です。

## 林業専用道整 備工事費

県のふるさとの森再生事業の採択見込みにより、林業専用道を整備するための工事費です。



稲葉崎車場地内

# を問う!



## 国民健康保険税資産割税率の見直しについて

現状では資産割に頼らざるを得ない

吉永 義和 議員

**吉永**

本町の国民健康保険税の課税は、所得割額・資産割額・均等割額・平等割額によって按分する4方式で賦課されており、均等割額と平等割額については市町村平均並みとなっておりますが資産割額の税率は62・25%で県内43市町村2番目に高い大幅な課税割合になっております。

納税者の高齢化と共に、現在の社会情勢の中では、所得向上は、望めない減収する方向であるそのような中で保険税率の資産割額の負担率が大きく滞納額が増加する要因の一つでもあるように思われます。資産割額の課税のない市町村もあることから、資産割額の見直しをする必要があると思えますが町長の見解をお伺いします。

**町長**

現在の国保会計の運営状況をみて、国民健康保険基金残高の減少、町の財政状況からしても一般会計からの繰入も厳しく、また国の動向等を見た場合、現状では資産割に頼らざるを得ないと思われれます。資産割

### 国民健康保険税算定方式

	医療分	後期高齢医療支援金分	介護分(40～64歳の方)
<b>所得割額</b> 総所得金額-33万円(基礎控除)	7%	1.6%	1%
<b>資産割額</b> 当該年度の固定資産税額	46%	11%	5.5%
<b>均等割額</b> 被保険者1人あたり	20,700円	4,800円	5,800円
<b>平等割</b> 1世帯あたり	20,700円	4,800円	4,100円
<b>課税限度額</b>	51万円	14万円	12万円

の見直し・減額を行うと、減額分を所得割や均等割・平等割で負担しなければなりません。滞納者の中には資産割が課税されない無資産者が多く、見直しにより更に滞納者が増加することも予想されます。よって、現時点で資産割の見直しは考えておりません。

**吉永**

遊休地を活用した  
景観形成について

ド入口から、西側へ国  
広域農道こがねロー



こがねロード遊休地

**町長**

国道268号線は県道268号線とサイクリングロードが並行している沿線で、延長約300mの路線の法面に当たるV字型になった遊休地を造成して、遊休地の有効活用を図りながら、景観形成を行なう考えはないかお伺いします。

国道268号線は県道268号線とサイクリングロードがそれぞれ管理し、は町がそれぞれ管理しているのが現状です。遊休地を活用した景観形成につきましては、今後関係機関と協議が必要と思えます。



ここが知りたい!!  
ここが聞きたい!!



## 水の里構想の計画

### 他の補助事業等の活用

境田 公明 議員

**境田**

平成21年の一般質問で、水の里構想についての

町長の答弁の中で、川内川の阿波井堰の工事完成予定の平成27年度以降に状況を見ながら検討する旨の答弁がなされましたが、阿波井堰の工事も進む中で、その状況を踏まえ、水の里構想について、当初の計画は、竹中池周辺から熊野神社までと広いものであったが、熊野神社を中心とした防災も兼ねる広場や上床につながる道路整備も必要だと考えます。このようなことを踏まえて、再度、水の里構想の計画を進める考えはないか伺います。

**町長**

水の里構想については、防衛施設周辺民生

安定施設整備事業の補助採択基準等に合致しないため、事業を再開することは大変難しいと思っております。

また、熊野神社周辺は民有地です。難しいです。しかしながら、

竹中池周辺の整備につきましては、総合的冠水被害軽減計画など他の補助事業と防衛施設周辺民生安定施設整備事業をあわせて、地域の方々の協力が得られるようであれば、推進していきたいと思えます。



熊野神社周辺の狭い道路

**境田**

今年の夏休みは、竹中池プールの利用者が

多く、グラウンドを臨時駐車場にするという対応がありました。竹中池プールの利用者のための休憩所を兼ねた駐車場。グラウンドを仮設駐車場に使用できるように整備することや、進入道路の検討な

どができないか町長の考えを伺います。

**町長**

用地の交渉もしてみましたが難しいで

した。地権者の同意がなければ難しいです。総合的冠水被害軽減対策等、こういう事業を取りながら、その中で、みんなで考えていきましようというようなことでやっている段階であります。湧水町全体の事を考えながら、その中で、どういうふうにして位置付けていくのかということが大事だと思えます。



臨時駐車場として利用したグラウンド



## 県営教職員住宅の今後のあり方について

県へ維持管理を徹底するように要請します

松元 昭治 議員

### 松元

町内の県教職員住宅について、現在入

居者がなく、地区において清掃等を行って住居もありませんが、今後において、このままの状態であれば、周辺地域住民への防犯・防災上からして危険であると考えます。

県の所有物ではありますが、地域住民への影響を考えると、県への対応等について、町としての考えを伺います。

### 町長

この件については、平成22年に県か

ら町へ取得希望の有無について照会があり、関係課で建物内部の確認及び協議を行い、今後の修繕や維持管理経費等を考慮し、県には無償であれば町営単身住宅を想定し譲与を受けたいと回答したところです。

その後は、この案件について県

からの回答など進展がないところです。よって、現在のところは県の所有物件であるため、町として関与することはできませんが、管理については、引き続き県へは維持管理を徹底するように要請します。



県営教職員住宅





## 再生可能エネルギー水力発電企業誘致を

今後、導入促進に期待したい

西牟田 徹也 議員

**西牟田** 豊富な湧水や農業用水を活用した小水力発電企業誘致の考えはないか伺います。

す。

**町長**

小水力発電につきましては、再生可能エネルギーの内、太陽光や風力と比べて、昼夜関係なく、年間を通して安定した供給が出来ることから、今後、導入促進が期待される再生可能エネルギーの一つであると思っています。

**西牟田**

町内の河川及び農業水路等、調査する考えはないか伺います。

**町長**

水力発電構想に向けて条件に適した河川や農業用水路等、調査したいと思えます。ただ、水利権や水量の問題等、検討が必要であると思えます。



農業用岳水路

**鳥獣被害防止対策について**

**西牟田** 増え続ける鳥獣被害対策として侵入防止ネット設置を行っているが、成果はどうか。また、今後の対策はどうか。

**町長**

現在まで96kmの侵入防止ネットの事業を導入したことで、農作物の被害は確実に軽減され、農家の生産意欲に繋がっていると思えます。今後も国等の事業を活用し、未実施区域への被害軽減に努めたいと思えます。

**西牟田**

鳥獣被害防止対策の一環として、近隣の市町村と連携して、食肉加工として取り組む考えはないか伺います。

**町長**

近隣市町や関係機関と連携し、捕獲個体の処理方法等について協議検討を進めているところです。

**西牟田**

増え続ける鳥獣被害対策の総結集として、県境を越えた市町村が連携した広域的な駆除対策等の考えはないか伺います。

**町長**

現在、環霧島会議、始良・伊佐地域鳥獣被害防止対策協議会等において、隣県と連携を含め、一斉確保の実施や捕獲区域の調整等について、協議検討を進めているところです。



侵入防止ネット対策の状況



## 道州制導入に関する意見書について

発議者：湧水町議会 議会運営委員長 池上滝一

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会議長全国大会において、その総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、本年4月15日には、全国町村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である。」とする緊急声明を行った。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、また、野党の一部においては、既に「道州制への移行のための改革基本法案」を第183回国会へ提出し、衆議院内閣委員会において閉会中審査となっているなど、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々湧水町議会は、町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、住民自治の推進に逆行する道州制導入は、断固反対する。

.....

上記、意見書を原案とおり可決し、関係各大臣宛に提出しました。

## 道州制導入について

## 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について

陳情者：湧水町川西 平谷 和文 氏

将来を担う子どもたちへの教育は極めて重要であり、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要がある。こうした観点から、さらなる少人数学級の推進及び教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することなどの旨の意見書を関係大臣へ提出していただきたいとするもの。

採択

日本は、OECD（経済協力開発機構）諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。また、暴力行為や不登校、いじめ等生徒指導面の課題が深刻化し、特別な支援を必要とする子どもが顕著に増えている中で、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応を行うためには、学級規模縮減以外の様々な定数改善が必要である。さらに、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は、2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体の財政を圧迫しているとする陳情の主旨は理解できる。

※採択により、関係各大臣宛てに意見書を提出しました。

どうなった!

## 私の陳情書

# こんなことが決まりました

議案	案	提案理由等	結果
報告第2号	湧水町土地開発公社の経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定により、湧水町土地開発公社の経営状況について報告するもの。	—
報告第3号	平成24年度湧水町健全化判断比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づく、平成24年度湧水町健全化判断比率の4指標を報告するもの。	—
報告第4号	平成24年度湧水町水道事業会計資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づく、平成24年度湧水町水道事業会計資金不足比率を報告するもの。	—
認定第1号	平成24年度湧水町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 75億7846万5537円 歳出 72億4513万8153円 差引 3億3332万7384円	認定
認定第2号	平成24年度湧水町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 15億2037万7506円 歳出 14億9171万1507円 差引 2866万5999円	認定
認定第3号	平成24年度湧水町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 12億7409万6059円 歳出 12億5949万109円 差引 1460万5950円	認定
認定第4号	平成24年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 1億3374万6141円 歳出 1億3368万2241円 差引 6万3900円	認定
認定第5号	平成24年度湧水町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	給水収益 1億5589万7352円 当年度純利益 408万4210円	認定
議案第37号	平成24年度湧水町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	地方公営企業法の規定により、平成24年度湧水町水道事業会計未処分利益剰余金のうち90万円を減債基金に積立て、残余を繰り越すことについて、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第38号	財産の取得について	平成25年度消防ポンプ自動車購入事業により、幸田分団に配置する消防ポンプ自動車1台を取得したいため、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第39号	平成25年度湧水町一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3030万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億4463万7千円とするもの。	原案可決
議案第40号	平成25年度湧水町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ832万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億9313万5千円とするもの。	原案可決
議案第41号	平成25年度湧水町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ123万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億2264万8千円とするもの。	原案可決
議案第42号	平成25年度湧水町水道事業会計補正予算(第2号)	入札執行に伴う減額及び漏水調査業務委託の追加並びに修繕費の増額が主な補正の内容	原案可決
陳情第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について	P12参照	採 択
発議第5号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書について	P12参照	原案可決
発議第6号	道州制導入に関する意見書	P12参照	原案可決

# 「住民と語ろう会」開催

今年度より「議会報告会」を「住民と語ろう会」として開催します。  
今年度は下記日程により、開催いたしますので、是非お近くの会場にお越しください。

期 日	対 象 地 区	会 場
11月26日(火) 午後7時～	川 添 地 区	川添地区生活改善センター
	長 谷 地 区	長谷地区林業集会センター
	上 場 地 区	上場農業構造改善センター
	鶴 丸 地 区	鶴丸地区生活改善センター
11月27日(水) 午後7時～	下 川 西 地 区	下川西地区コミュニティセンター
	停 車 場 地 区	湧水町コミュニティ防災センター
	上 川 西 地 区	湧水町吉松中央公民館
	幸 田 地 区	湧水町幸田コミュニティセンター
11月28日(木) 午後7時～	西 下 場 地 区	西下場地区公民館
	東 中 下 場 地 区	東中下場青少年自立自興館
	老 竹 地 区	老竹地区コミュニティセンター
	北 方 地 区	北方コミュニティセンター
11月29日(金) 午後7時～	轟 地 区	轟地区農事集会所
	米 永 地 区	米永コミュニティセンター
	般 若 寺 地 区	般若寺地区生活改善センター
	中 津 川 地 区	中津川コミュニティセンター

傍聴にお越しください。

## 次の定例会は12月上旬予定

### 編集後記

朝夕めっきり寒くなってきましたが、皆様におかれましては稲作等の収穫でお忙しいことと思います。今回、第3回定例会では、補正予算に続き、24年度の決算の歳入歳出について、特別委員会ですら査され可決されました。その成果を広報誌に掲載いたしました。住民一人一人の目線で見えていただきますようお願い申し上げます。これからも議会に対しまして、ご指導やご意見等下さるようお願いいたします。

宮里 廣昭

#### 議会広報編集委員会

委員長 吉永 義和  
副委員長 宮里 廣昭  
委員 橋元 義嗣  
同 松元 昭治  
同 綾織 まち子  
同 西牟田 徹也